

### 第3 指導と評価の計画及び改善

※ 実際の指導案の形式については、P48～51を参照

#### 1 単元計画の作成と評価及び改善の考え方 ※ 詳細は下記事例を参照

- ・ 単元計画の作成においては、学習指導要領解説を読み解き、学習内容の明確化を図ることが必要である。
- ・ 評価計画の作成においては、単元全体を見通し、「評価したことを指導に生かす場面」と「評価したことを記録に残す場面」が適切に位置付けられるよう留意する。
- ・ 評価規準において、「主体的に学習に取り組む態度」の②を積極的に記述するのは、学習指導要領の内容の取扱いに「選択・判断」や「多角的に考える」と示されている内容である。また、第6学年の歴史的単元では、「文化」や「歴史を学ぶ意味」を考えさせる単元において記述できる。

#### 2 本時の学習指導と評価及び改善の考え方 ※ 詳細は下記事例を参照

- ・ 本時の目標と評価、本時の課題とまとめの整合性を図る。

#### 3 単元計画及び本時の指導と評価、授業改善例

ここでは、単元計画及び本時の学習指導と評価について、一部抜粋し留意点をまとめて示している。

#### <第4学年の内容(4ア(イ)ウ)、イ(イ)地域の発展に尽くした先人を事例として>

- 1 小単元名 見沼の開発－見沼代用水と井沢弥惣兵衛－
- 2 小単元について (略)
- 3 小単元の目標と評価規準

##### (1) 目標

地域の発展に尽くした先人について、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを関連付けて考え、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

##### (2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①当時の世の中の課題や人々の願いなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。	①当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、問いを見いだし、地域の発展に尽くした先人の具体的事例について考え、表現している。 ②当時の世の中の課題や人々の願いなどを関連付けたり総合したりして、先人の働きを考え、適切に表現している。	①地域の発展に尽くした先人の働きについて、予想や学習計画を立て、学習を見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

#### 4 小単元の指導計画・評価計画(11時間扱い) ※ 一部省略し、波線で表記した。

「学習活動・学習内容」の○数字は時間を表す。

【知・技】：知識・技能 【思・判・表】：思考・判断・表現 【態】：主体的に学習に取り組む態度

	○学習活動・学習内容	【評価の観点】 内容〈方法〉	資料等
つかむ	①見沼の現在の様子と昔の様子について調べ、疑問に思ったことを話し合い、学習問題を立てる。 ・見沼・井沢弥惣兵衛 ・世界かんがい施設遺産 学習問題 井沢弥惣兵衛は、どのようにして見沼代用水をつくり、当時の人々の生活はどうなったのだろう。	【思・判・表①】 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、学習問題を考える。 〈発言・ノート〉	・写真 ・大型テレビ ・新聞記事
	②学習問題について予想し、学習計画を立てる。 「つかむ」から「調べる」といった学習過程の切り替わりの場面は、児童の思考の流れを意識し、斜線で表記した。	【態①】 地域の発展に尽くした先人の働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈発言・ノート〉	・写真 ・大型テレビ
調べる	③見沼代用水ができる前の見沼周辺の様子について調べる。 ・ため池・こう水・日照り	学習活動と学習内容については、枠内で区別して記述し、学習活動は、「○文章」で表記し、学習内容は、主に「・体言止め」にする。	・文献資料 ・想像図

単元の前半は、評価したことを指導に生かす場面の要素が強い。

まとめる	⑨見沼代用水・見沼通船堀が完成したあとの人々の様子について調べる。(本時) ・運河 ・見沼通船堀 P38 指導計画作成の留意事項(6)	【知・技②】 調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。(発言・ノート)	・工事 工程表 ・想像図
	⑩井沢弥惣兵衛の働きによって、当時の人々の生活はどのように変わったのか考える。 ・収穫量の増加 P38 指導計画作成の留意事項(2)	【思・判・表②】 当時の世の中の課題や人々の願いなどを関連付けたり総合したりして、先人の働きを考え、適切に表現している。(ノート)	評価する際に、1単位時間で3観点全てを見取る必要はない。
	⑪学習してきたことを、関係図に表し、学習問題の結論を話し合う。 ・学習問題に対する自分なりの結論 ・学級の結論 学習問題の結論 井沢弥惣兵衛は、地域の問題を解決するため、地域の人々と協力し、長い距離を短期間で工事し、見沼代用水を作った。地形を生かしたり、「ふせこし」や「かけとい」といった特別な方法を使ったりしている。見沼のまわりの地域では、田が増え、米の収穫量も増えた。通船堀が作られ、江戸へ米が運びやすくなった。この地域の人々の生活は、豊かになった。	【思・判・表②】 当時の世の中の課題や人々の願いなどを関連付けたり総合したりして、先人の働きを考え、適切に表現している。(ノート・作品)	

単元の後半は、評価したことを記録に残す場面の要素が強い。

評価規準が、その時間の目標と対応するようにする。

5 本時の学習指導 (9/11時)

(1) 目標

調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解することができる。

【知識及び技能】

(2) 展開 ※ 一部省略し、波線で表記した。

学習活動	学習内容	指導上の留意点	評価 (方法)	資料等	時間
1	前時の学習を振り返り、本時の課題を立てる。	・前時の学習を振り返り、学習の見通しをもたせる。			3
課題 見沼代用水ができた後、見沼のまわりは、どのように変わったのだろうか。					
3	学芸員から話を聞いたり、資料を見たりして、見沼代用水ができた後と当時の人々の生活の様子について調べ、まとめる。	・見沼通船堀 ・舟運 ・収穫量	調べたことを年表や文などにまとめ、地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。 【知・技②】(発言・ノート) ⇒ 貢献したことを読み取ることが難しい児童には、学芸員から聞いた話や資料の内容について、年代を追って年表にまとめるよう助言し、それを見ながら当時の生活がどのように変化したのかを確認するよう促す。	・大型テレビ ・今昔マップ	15
学習内容によって、ゲストティーチャーの招聘や資料提供の依頼等、博学連携ができるとうい。					
5	本時のまとめをする。	まとめ 見沼代用水が完成した後、見沼通船堀ができたことで、船で江戸へ米を運ぶことや、江戸から肥料や荷物を運ぶことができるようになった。その結果、見沼のまわりの地域は、荷物が行き来するようになって、栄えた。			
指導と評価の一体化を図る。「努力を要する状況」への手立て(以下⇒で表す)を、評価と併せて記入する。「おおむね満足できる状況」を「十分満足できる状況」にするための手立てを記入する場合もある。					
6	本時の学習の振り返りをし、次時への見通しをもつ。	児童に、分かったことや考えたこと、疑問に思ったこと、自己の学び方、次時への見通し等について、振り返らせるようにする。			
本時の課題とまとめが正対するようにする。					

ここでは、単元計画及び本時の学習指導と評価について、指導案の形式で示している。

<第3学年の内容(4)ア(ア)(イ)、イ(ア)市の様子の移り変わりを事例として>

- 1 小単元名 深谷市のようなすのうつりかわり
- 2 小単元について (略)
- 3 小単元の目標と評価規準

(1) 目標

市の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査や地図などの資料で調べて年表などにまとめ、市の様子や人々の生活の様子について考え、表現することを通して、市や人々の生活の様子が時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①市や人々の生活について、聞き取り調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市や人々の生活の様子を理解している。 ②調べたことを年表や文などにまとめ、市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解している。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などに着目して、問いを見だし、市や人々の生活の様子について考え表現している。 ②比較・関連付け、総合などして市の様子の変化を考え、適切に表現している。	①市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②これまでの学習を基に、これからの市の発展について考えようとしている。

4 小単元の指導計画・評価計画 (11時間扱い)

「学習活動・学習内容」の○数字は時間を表す。

	○学習活動 ・学習内容	【評価の観点】 内容 〈方法〉	資料等
つ か む	①深谷駅の昔と今の様子の違いについて写真資料や利用客数の統計資料を用いて調べる。 ・およそ50年前の深谷駅と現在の深谷駅 ・昔と今の違い	【思・判・表①】 昔と今の写真を比較して、相違点について考えている。 〈発言・ノート〉	・昔の深谷駅(写真) ・今の深谷駅(写真) ・統計資料
	②昔の交通の様子と今の交通の様子を比較し、市の移り変わりについて学習問題を立て、予想をもち、学習計画を立てる。 ・昔と今の深谷市の交通の様子 ・昔と今の土地利用の様子 ・公共施設  学習問題 私たちがくらす深谷市は、どのように変わってきたのだろう。	【思・判・表①】 市の様子の移り変わりに着目して、学習問題を考えている。 〈発言・ノート〉  【態①】 市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈発言・ノート〉	・昔の交通の様子(地図) ・今の交通の様子(地図)
調 べ る	③JR 高崎線が通った頃の様子を表す資料を基に、鉄道が通ったことで土地利用や人々のくらしがどのように変わったのか調べる。 ・鉄道が通る前と通った後の土地利用の変化 ・くらしの変化	【知・技①】 鉄道が通る前と通った後の市の様子を、地図や写真などで調べ、土地利用の様子や人々のくらしが変化したことを理解している。 〈発言・ノート〉	・鉄道が通った頃(錦絵)と後(写真)

市の様子の移り変わりについて、児童の疑問や調べたいことについては【思・判・表】、追究意欲については【態】で評価するようにする。

調 べ る	④高速道路（関越自動車道）ができた頃の様子を表した地図資料をもとに、高速道路が整備されたことで土地利用や人々のくらしがどのように変わったのか調べる。 <b>（本時）</b> ・高速道路ができる前とできた後の土地利用の変化 ・くらしの変化	<b>【知・技①】</b> 高速道路ができる前とできた後の市の様子を、地図や写真などで調べ、土地利用の様子や人々のくらしが変化したことを理解している。 〈発言・ノート〉	・高速道路ができる前と後 （写真・地図）
	⑤深谷市の人口の移り変わりについて調べる。 ・人口の増減、時期による違い ・市町村の合併 ・交通の様子（鉄道の整備・高速道路の開通）との関連	<b>【知・技①】</b> 市の人口について、地図や年表などの資料で調べてまとめ、人口の時期による違いを理解している。 〈発言・ノート〉	・統計資料 ・交通の変化を表す地図
	⑥公共施設の移り変わりについて調べる。 ・自分たちの学校の沿革 ・図書館や公民館の建設時期や分布 ・市役所の建設時期 ・公共施設が建設された時期による違い	<b>【知・技①】</b> 市の公共施設が建設された時期による違いについて、地図や年表などの資料から読み取っている。 〈発言・ノート〉	・学校の沿革史 ・公共施設の分布を表す地図
	⑦⑧市の博物館や校内の郷土資料室で、生活の道具とくらしの移り変わりについて調べる。 ・昔の生活の道具の使い方体験 ・現在の生活の道具の使い方 ・昔の道具を使っていた頃の生活の様子 ・生活の道具の時期による違い	<b>【知・技①】</b> 生活の道具について文献などの資料で調べてまとめ、市の人々の生活の時期による違いを理解している。 〈発言・ノート〉	・昔の生活道具の実物
ま と め る	⑨⑩これまで調べてきたことを振り返り、深谷市の移り変わりの様子について年表づくりを行い、学習問題の結論を導き出す。 ・年代 ・市のできごと ・市の発展	<b>【知・技②】</b> 調べたことを年表や文などにまとめ、市や人々の生活の様子が、時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解している。 <b>【思・判・表②】</b> 〈年表〉 時間が移り変わるにつれて、市の様子が移り変わってきたことを適切に表現している。 〈ノート〉	・年表
	学習問題の結論 深谷市は、交通の発達とともに発展してきた。鉄道が通ったり高速道路ができたりした頃、人口が増え、家や店、工場、公共施設なども増えた。生活の道具もだんだんと便利なものが増え、市や人々の生活も移り変わっていった。		
生 か す	⑪交通が発達した今の深谷市の様子や、渋沢栄一翁のふるさとしてあることを生かした、これからのまちづくりについて考える。 ・レンガを生かしたまちなみ	<b>【態②】</b> これまで学習したことを基に、これからの深谷市の発展について考えようとしている。〈発言・ノート〉	単元前と後で、児童の考えにどのような変容があったのかを見取るようにする。

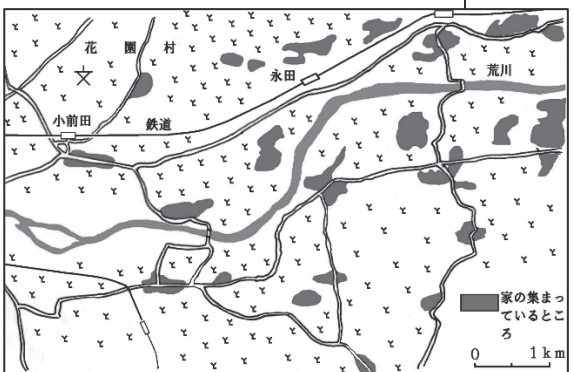

P38 指導計画作成の留意事項(1)(4)(7)(8)  
実際に昔の道具を体験することによって、具体的に昔の生活を想起させるとともに、今の生活との比較ができるようにする。

5 本時の学習指導（4／11時）

(1) 目標

高速道路ができる前とできた後の市の様子を、写真や地図などで調べ、土地利用の様子や人々のくらしが変化したことを理解することができる。 【知識及び技能】

(2) 展開

学習活動・学習内容	指導上の留意点 評価 (方法)	資料等	時間
<p>1 2枚の写真を比べて課題をつかむ。</p> <p>T：この写真は〇〇ができる前と後です。写真に写っているのは何ですか。〇〇は、何だと思えますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桑畑が広がっている様子（〇〇ができる前）</li> <li>・建物が建っている様子（〇〇ができた後）</li> </ul> <p>課題</p> <p>高速道路ができたことによって深谷市は、どのように変わったのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を提示する前に「2枚の写真は、深谷市の同じ場所です。〇〇ができる前と後の写真ですが、何だと思えますか？」などと問いかけ、2枚の写真の違いに気付くようにする。</li> <li>・2枚の写真が、高速道路ができる前と後のものであることを確認し、その時期を市の年表で確かめさせる。</li> <li>・教室に掲示してある市の地図を見て、写真の場所を確かめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路（関越自動車道）ができる前の写真</li> <li>・高速道路ができた後の写真</li> <li>・市の年表</li> <li>・市の地図</li> </ul>	5
<p>2 予想をする。</p> <p>&lt;予想される児童の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店や工場がふえた</li> <li>・大きな道路ができた（国道140号）</li> <li>・鉄道で生糸やレンガを運んだように、何かを運べるようになった</li> </ul> <p>3 2枚の地図を比べて調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道が整備された頃の深谷市の変化の様子を想起させる。</li> <li>・予想した理由についても児童に述べさせるようにする。</li> </ul>		3
<p>地図①</p> 	<p>地図②</p> 		20
<p>(1) 個人</p> <p>(2) グループ</p> <p>(3) 全体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路ができたことによる市の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の読み取りが苦手な児童には、写真を手掛かりにして地図に記されている内容を読み取るように助言する。</li> <li>・地図を重ねて、変化が分かるように提示の仕方を工夫する。</li> <li>・地図を読み取ることを通して、高速道路ができた後、国道沿いにも、工業団地や店舗ができたことを、具体的に調べさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路ができる前（地図①）と後（地図②）</li> <li>・高速道路ができた後の写真（道路・店・工業団地）</li> <li>・サービスエリアに停車しているトラックの写真</li> </ul>	

<p>4 調べてわかったことを基に交通の整備と土地利用の関係について考える。</p> <p>T: 高速道路ができる前とできた後は、土地の様子はどのように変わったのだろう。</p> <p>T: 高速道路ができた後、どうして工場や倉庫などが増えたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速道路ができて、土地の利用の仕方や様子が変わったこと</li> <li>・ 高速道路ができた後、工場や倉庫や店などが増えたこと</li> <li>・ 高速道路を利用するために、インターチェンジの周りに、工場や倉庫ができたこと</li> <li>・ 高速道路を使って、いろいろな場所へ、早くものを運ぶことができること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通網の広がりに合わせて、工場や倉庫の建設が行われているなど、交通と土地利用の変化の関連について、資料を基に具体的に考えることができるようにする。</li> </ul>	<p>7</p>
<p>5 まとめをする。</p> <p>まとめ</p>	<p>【評】 高速道路ができる前とできた後の市の様子を、写真や地図などで調べ、土地利用の様子や人々のくらしが変化したことを理解している。</p> <p>【知・技①】 &lt;ノート・発言&gt;</p> <p>⇒ 写真や地図を見て、地域の変化を読み取ることが難しい児童には、以下のような支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道が整備されたことで、市の様子にどのように変化が見られたのか、既習事項を押さえることで、土地利用の変化を予想させやすくする。</li> <li>・ 地図帳を活用し、高速道路がどのような場所を通っているか調べることで、多くの場所を結んでいることを理解できるようにする。</li> <li>・ 資料を提示することで、高速道路にどのような車が走っていたのか、だれがどのようなことに利用しているのかといったことを考えられるようにする。</li> </ul>	<p>5</p>
<p>6 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習を振り返り、学習を通して考えたことなどをノートに整理させる。</li> </ul>	<p>5</p>

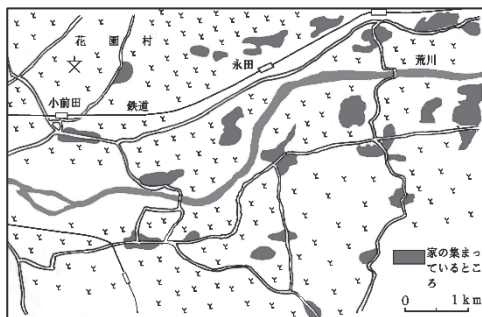
くわ畑が広がっていた所に高速道路ができて、工場なども建てられた。そして、高速道路を利用して、たくさんの品物を運ぶことができるようになった。

児童が社会的な見方・考え方(時間・空間)を働かせ、昔と今を比較し、どのような違いが生まれるのか考えやすくするために、資料を並べて掲示する。地図は、できる限り児童が読み取りやすいように加工することも大切である。

(6) 板書計画

高速道路ができたことによって深谷市はどのように変わったのだろう。

高速道路ができる前



鉄道が通っている。くわ畑が広がっている。

高速道路ができた後



高速道路ができた。交通の様子が変わった。工場が増えた。



- ・ 大きな道路の近くに工場ができています。
- ・ 高速道路は、自動車だけでなくトラックも走っている。
- ・ 高速道路では、人だけでなく、物も運んでいる。

- これまで学習してきた時代との変化
- ・ 高速道路や大きな道路ができたこと。
- これまでの交通・・・鉄道
- この時代の交通・・・鉄道
- 高速道路
- 大きな道路

まとめ

くわ畑が広がっていた所に高速道路ができて、工場なども建てられた。そして、高速道路を利用して、たくさんの品物を運ぶことができるようになった。

#### 4 指導と評価の実際（各学年の実践事例）

＜事例1＞ 「社会への関わり方を選択・判断する」事例  
 ※本事例は、児童が学習したことを基に社会に見られる課題を把握し、社会への関わり方や解決策を選択・判断し、社会生活に生かそうとする実践である。  
 第3学年「安全なくらし」 指導要領との関わり：内容(3) ア・イ

「生かす」場面において、「新たな課題」を設定し、社会への関わり方を、選択・判断できるようにすることが必要である。そこで、本事例では、消防に係る「火事からくらしを守る」、警察に係る「事故や事件からくらしを守る」の各小単元を組み合わせて選択・判断できるように、単元構成を工夫した。

- 1 単元名 安全なくらし
- 2 単元について (略)
- 3 単元の日標と評価規準 (略)
- 4 単元の指導計画・評価計画 (15時間扱い)

P38 指導計画作成の留意事項(9)

※ 一部省略し、波線で表記した。

※ 火事からくらしを守る(7)事故や事件からくらしを守る(6)生かす(2) ( )内の数字は時数

	○学習活動 ・学習内容	【評価の観点】 内容 〈方法〉	資料等
つかむ	①②避難訓練や火事の様子の写真などから学習問題を立て、予想し、学習計画を立てる。 ・消防士 ・ガス会社 ・警察 等 ・消火活動の様子・火事原因別の件数 ・1年間の火事の件数 学習問題Ⅰ 火事から人々の安全を守るために、だれが、どのようなことをしているのだろう。	【思・判・表①】 火事の様子に着目して、学習問題を考えている。 〈発言・ノート〉 【態①】 火事から地域の安全を守る働きについて、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈発言・ノート〉	・火事の現場の写真 ・火事の件数のグラフ ・火事原因の表
まとめる	⑦学習問題の結論をまとめる。 学習問題の結論Ⅰ ・火事から私たちを守るために、消防署を中心としたさまざまな機関が、協力しながら、素早く消火できるようにしている。 ・火事を防ぐために消防署や地域の人々が、日頃から施設や設備を整えたり、訓練したり、パトロールしたりしている。	【思・判・表②】 火事から人々を守る活動について関連付けたり、総合したりして学習問題の結論を考え、表現している。〈発言・ノート〉	・前時までの既習資料
つかむ	⑧⑨事故の様子の写真などから学習問題を立て、予想し、学習計画を立てる。 ・警察官 ・救急救命士 ・レッカー車 ・事故処理の様子 ・原因別の事故の件数 ・1年間の事故の件数 ・1年間の事件の件数 学習問題Ⅱ 事故・事件から人々の安全を守るために、だれが、どのようなことをしているのだろう。	【思・判・表①】 事故の様子に着目して、学習問題を考えている。 〈発言・ノート〉 【態①】 消防で立てた追究の過程を振り返り、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈発言・ノート〉	・事故の現場の写真 ・事故の件数のグラフ ・事件の件数のグラフ ・事故原因の表
まとめる	⑬学習問題の結論をまとめる。 学習問題の結論Ⅱ ・事故・事件から私たちを守るために、警察や地域の人々などはパトロールをしたり、注意を呼びかけたりするなど、それぞれ協力しながら取り組んでいる。 ・事故が起きた時は、警察と消防は協力しながら、素早く対応している。	【思・判・表②】 事故や事件から人々を守る活動について、関連付けたり、総合したりして学習問題の結論を考え、表現している。 〈ワークシート〉 火災に係る学習内容、消防署の学習で育んだ見方・考え方や学び方を生かすようにする。	・前時までの既習資料

生 か す	<p>⑭火事や事故・事件を防ぐ取組の課題について、話し合い、解決方法について考えを書く。(本時)</p> <p>新たな課題 わたしたちの暮らしを守るために、自分たちにできることを考えよう。</p>	<p>【思・判・表②】 学習したことを基に、暮らしを守るために地域社会の一員として自分たちにできることを考え、選択・判断し、表現している。(ワークシート)</p>	<p>・関連図 ・安全マップ ・写真</p>
	<p>⑮消防団やスクールガード・リーダーなどに提案する。</p>	<p>【態②】 学習したことを基に、安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。(発言・ワークシート)</p>	

4 本時の学習指導 (14/15時)

(1) 目標

学習を振り返り、暮らしを守るために地域社会の一員として自分たちにできることを考え、選択・判断し、表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】

(2) 展開

学習活動 ・ 学習内容	・ 指導上の留意点 評価 (方法)	資料等	時間
<p>1 2つの小単元の学習を振り返る。</p> <p>・わたしたちの生活は、警察や消防、地域の人たちに守られていてとても安全だ。</p>	<p>・火事や事故・事件の原因や予防のための地域の取組を振り返る。</p>	<p>・安全マップ ・写真</p>	5
<p>2 蕨市の火事や事故・事件の発生件数を読み取り、新たな課題を導く。</p> <p>・消防や警察が頑張ってくれているのに、火事や事故・事件がなくなる 不審者はまだ出ている 子供と高齢者の事故が多い 自分たちにも協力できることがあるのではないか</p> <p>新たな課題 わたしたちの暮らしを守るために、自分たちにできることを考えよう。</p>	<p>・安全・安心だといわれ、多くの人が予防の努力をしているのに火事や事故・事件がゼロにならないという公助の限界を確実に押さえ、問題意識を高められるようにする。</p>	<p>・蕨市の火事発生数、事故発生数(種別)</p>	10
<p>3 既習事項をもとに、火事や事故・事件をなくすために、自分たちにできることを話し合う。</p> <p>・不審者から身を守るために、防犯ブザーを身に付けるようにする ・火を使っている時は、場を離れないよう、家族に話すようにする ・火事を防ぐことを呼び掛ける標語やポスター等を作成し、公共施設に掲示する ・将来消防団に入り、地域に貢献する</p>	<p>・自分たちにできることを発表する際、そう考えた理由も発表させる。</p>	<p>・前時までの既習資料</p>	15
<p>4 話し合っ出された意見を踏まえて、自分にできることを考え、その理由とともにワークシートにまとめる。</p> <p>公共施設に掲示するために、児童が作成した標語の例</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>理由 けいさつやちいきの人が がじけんをへらすために にがんばってパトロー ルしてくれているの で、自分でも自分の身 を守るようにしたい と考えると、標語をつ りました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;"> <p>ふしん者から ぼうはんブザーで 身を守るう。</p> </div>	<p>・出された意見を踏まえて、自分にできることを各自で考え、理由も含めてワークシートに書かせる。</p>		10
<p>5 次時の予告をする。</p> <p>・実際に消防団やスクールガード・リーダーに提案すること。</p>	<p>・ゲストティーチャーを呼び、意見を提案することを伝える。</p>		5



**<事例2> 「振り返りの記述で見取る『主体的に学習に取り組む態度』の評価」の事例**  
 ※本事例は、単元を通して学習活動の「振り返り」を意図的・計画的に行い、その記述をもとに「主体的に学習に取り組む態度」を評価し、児童の変容を見取るとともに、それを指導に生かしていく実践である。  
 第4学年「県内の伝統や文化」 指導要領との関わり：内容(4) ア・イ

- 1 小単元名 大切に伝えたい秩父夜祭
- 2 小単元について (略)
- 3 小単元の目標と評価規準 (※評価規準は略)  
 秩父市で行われている秩父夜祭について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、見学・調査したり地図などで調べたりして、年表にまとめ、祭りの様子を捉え、取組の変遷や人々の生活の様子の特徴を比較・関連付けて考え、秩父夜祭は、地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、学習問題を意欲的に追究し、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって地域社会の一員として、自分たちにできることを協力しようとする。
- 4 小単元の指導計画・評価計画 (10時間扱い)  
 (評価計画は省略。ここでは「主体的に学習に取り組む態度」に限定して記述している。)

「主体的に学習に取り組む態度」の評価について  
 ※ P41 参照

- <学習活動における振り返りについて>
- 1 振り返りの視点
    - (1)学習内容面の振り返り
      - ・今日学んだことへの振り返り
      - ・自分で立てた予想や考えに対する振り返り
    - (2)学習活動面の振り返り
      - ・自分の学習の進め方・学び方への振り返り
      - ・調べたり話し合ったりした活動への振り返り
    - (3)単元の目標に対する振り返り
      - ・単元の学習問題に対する振り返り
      - ・生活の在り方や社会の発展についての振り返り
  - 2 振り返りについて
    - (1) 振り返りを記述させる際は、視点を示したり、よい児童の記述を例示したりするなど、継続的に指導していくことが大切である。
    - (2) 振り返りを単元の指導計画に位置付け、意図的・計画的に実施する。毎時間行わなければならないものではない。

	○学習活動 ・ 学習内容
つかむ	①②埼玉県内の文化財や年中行事について調べ、白地図にまとめ、秩父夜祭の写真などの資料を見て気付いたことを話し合い、学習問題を立て、学習問題の解決に向けて予想や学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財</li> <li>・年中行事</li> <li>・秩父夜祭</li> <li>・来場者数</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産</li> <li>・重要無形民俗文化財</li> </ul>
	学習問題 多くの人が参加する秩父夜祭は、だれがどのようにして続けてきたのだろう。
調べる	③秩父夜祭の歴史的背景や現在に至る経緯について資料(年表・地図)から調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父夜祭の由来</li> <li>・養蚕</li> <li>・秩父の地理的条件</li> </ul>

P38 指導計画作成の留意事項(7)

**予想や学習計画を立てる場面**

【評】 学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。  
 【態①】〈ノート・発言〉

〈評価したポイント〉  
 ・学習問題に対する予想を立てている。  
 ・学習問題の解決に向けて、見通しをもっている。

〈努力を要すると評価されるA児の振り返り〉  
 秩父夜祭は、とてもにぎやかなお祭りだと思いました。秩父夜祭について、調べたいです。

⇒学習問題を意識した記述になっていない児童には、「だれが」「どのようにして続けてきたのか」というキーワードを基に、予想を考えるよう助言する。

秩父夜祭は、とてもにぎやかなお祭りだと思いました。これだけ大きなお祭りが、何百年も続いていることから、きっと保存会のようなものがあって、その人たちが守っているのではないかと思います。どうしてこのようなお祭りが始まったのか、どのような人達が関わって続けられているのかなどについて、資料で調べたり聞き取りをしたりして調べていきたいです。

調べる	<p>④⑤⑥秩父夜祭の保存や継承のための取組について調べる。</p> <p>ゲストティーチャー：秩父まつり会館で働く人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保存・継承に携わる人々の取組（屋台・笠鉾・お囃子）</li> <li>・祭りに携わる人々の取組（実行委員会・神社・市役所・警察・鉄道会社・市民）</li> <li>・祭りに関わる人々の願い</li> <li>・保存・継承する際の課題</li> <li>・宣伝活動や安全に関する取組</li> </ul>
	<p>⑦学習問題の結論を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年中行事を受け継ぎ保存する意味</li> </ul> <p>学習問題の結論</p> <p>秩父夜祭は、地域の人々が協力し、参加する人、観光に来る人の安全も考えて続けられている。問題が発生した時は、その都度解決しながら現在まで地域の発展を願い続けられてきた。</p>
	<p>⑧⑨⑩地域の祭りの課題について考え、文化財や年中行事を保護、継承するために大切なことを話し合う。</p> <p>*生活科・総合的な学習の時間との関連を図り、地域の年中行事を教材化する。 *社会への関わり方を選択・判断する場面 保存・継承していくために協力できることを考える。</p>
まとめる	
生かす	

P38 指導計画作成の留意事項(4)

P38 指導計画作成の留意事項(3)

**学習を振り返ったり見直したりする場面**

【評】 秩父夜祭の保存や継承の取組に係るこれまでの学習を振り返ったり見直したりして、さらに調べるべきこと（新たな問い）を見いだし、見直しをもって追究しようとしている。

【態①】〈ノート・発言〉

〈評価したポイント〉

- ・これまでの学習を振り返り、学習を見直し、まだ解決しきれていないことを明らかにして、解決の見直しをもって
- ・今までの学習状況を確認し、さらに調べるべきことや新たな問いを明らかにしている。

＜学習を振り返ったり見直したりする場面で、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を組み入れる例＞

（例1） 「調べる」の学習過程の中に位置付ける。  
第4時で、秩父夜祭の保存や継承のための取組について資料で調べる。第5時では、調べて分かったことを出し合い、話し合う中で、まだ解決しきれていないことやさらに追究すべき課題や疑問等を整理していく学習の中で、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を位置付け、自らの学習を調整しようとする側面を評価することが考えられる。第6時には、前時に与えられた課題等についてさらに追究する。  
（ゲストティーチャーに聞くなど。）

（例2） 「まとめる」から「生かす」の学習過程にかけて位置付ける。  
第7時に秩父夜祭に関する学習問題の結論をまとめ、第7時の後半に、地域の祭りの導入を図る場合には、第7時に「主体的に学習に取り組む態度」の評価を位置付けることが考えられる。または、第8時に秩父夜祭の学習を生かして、地域の祭りについて調べる「新たな問い」を見いだす場面に、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を位置付けることが考えられる。

**学習したことを社会生活に生かそうとする場面**

【評】 単元の学習を振り返り、文化財や年中行事を保護、継承するために、自分たちに協力できることを考えようとしている。

【態②】〈ノート・発言〉

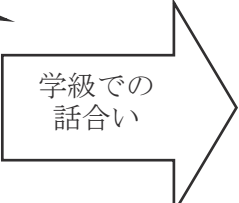
〈評価したポイント〉

- ・学習したことを基に考えている。
- ・地域の一人一人として、自分ができていることを考えている。

＜単元の終末期の児童の変容＞（学習に振り返りの記述から読み取る）

⑨ 第9時の学習を振り返っての自分の考え  
⑩ 第10時、学級での話し合いを通じた最終的な自分の考え

⑨ 第9時の児童Aの振り返り  
秩父夜祭と同じように、地域に伝わる「餅つき踊り」のような伝統行事も大切にすることは、とてもよいことだと思います。これからも、続けていけるようにしていきたいです。



- ・地域の人たちの取組・思い
- ・抱える課題
- ・地域の一人一人としてできる協力

⑩ 第10時の児童Aの振り返り  
自分たちがくらす地域に伝わる「餅つき踊り」も、秩父夜祭と同じように、伝統行事を守るために、強い思いをもった人たちがたくさん関わっているのだとわかりました。様々な課題もある中で、お祭りをみんなで話し合って復活させ、続けていくためには、いろいろな立場の人の意見を聞きながら、地域の一人一人が自分にできそうなことをやっていくことが大切だと思います。私も、地域の一人一人として、このお祭りに毎年参加し、大きくなったら話し合いにも参加して、できることを協力していきたいです。

<事例3> 「社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える」事例  
 ※本事例は、児童が複数の立場や意見を踏まえて「多角的に考え」、食料生産の在り方について、自分の考えをまとめていく実践である。  
 第5学年「これからの食料生産とわたしたち」 指導要領との関わり：内容(2) ア・イ

1 小単元名 これからの食料生産とわたしたち

2 本小単元を構成するにあたって

(1) 現代社会の抱える問題に対して、児童が多角的に考える工夫

「多角的に考える」とは、児童が複数の立場や意見を踏まえて考えることである。本事例は、食料自給率の低下をはじめ、我が国が抱える食料生産に関する問題を学び、多角的に思考していく実践である。これら問題に対して、「私たち消費者は」「生産者は」と複数の立場から、どのような解決方法があるのか多角的に考えることをねらっている。

問題を一面的に捉えないように、「どの立場にどのような問題が生じているのか」「その問題の解決策は何か」と明確にし、児童の理解や問題意識を高めることで多角的に考えられるよう指導していく。

(2) 社会科の学びと実生活を結び付ける家庭学習の活用

学習問題の成立後、児童が授業の見通しをもつことで、授業に関連する内容を事前に家庭で調べ、それらを授業で生かしていくことができる。本事例では、どこからどのような食品を購入しているのかという買い物調を家庭学習で行った。他学年においても家庭での生活の様子（ごみ調べ、節水・節電などの取組）の調べ学習は効果的である。社会科では、調べ学習に取り組む際、家庭学習を活用することで、実生活と社会的事象との距離を縮め、自分事として問題解決を進めることができる。

3 小単元の目標と評価規準（評価規準は略）

我が国の食料生産について、食料自給率や輸入・輸出など外国との関わり、食の安全・安心への取組などに着目して、地図帳や各種資料で調べ、まとめることで食料生産の課題を捉え、食の安全・安心、持続可能な食料生産・食料確保が世界的に考えても重要な課題であることを理解することができるとともに、学習問題を意欲的に追究し、学習したことを基に様々な立場から多角的に考え、これからの食料生産について考えることができる。

4 小単元の指導計画・評価計画（6時間扱い） < >内は多角的な思考の立場を表す

	○学習活動 ・ 学習内容	【評価の観点】 内容 〈方法〉	資料等
つかむ	①食料生産の課題について話し合い、学習問題を立て、予想し、学習計画を立てる。 <生産者・消費者> ・食品ロス ・食料自給率が低い 学習問題 日本の食料生産にはどのような課題があり、これからの食料生産に対し、わたしたち消費者はどうしたらよいのだろう。	【態①】 食料自給率や輸出・輸入などの外国との関わり等に着目して、学習問題の予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。 〈ワークシート〉	・ 買い物調べの結果 ・ 自給率グラフ
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           予想について話し合い、右のような学習計画を立てた。それに基づいて児童が資料集めや家庭からの聞き取りを行うなど、家庭学習で取り組んだ。また、多角的な思考のため学習計画に立場を記すようにした。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           学習計画（⊕は生産者、⊙は消費者）            ・ 買い物調べで輸入品が多かったが、食料品の輸入についてはどうか。 ⊕・⊙            ・ 日本の生産者も何かがんばって取り組みをしているのでは。 ⊕            ・ 私たちの食は安全なのだろうか。 ⊕・⊙         </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>食品ロス</b>            年間643万t（1人あたり約50kg以上）もまだ食べられる食品を捨てている。この問題解決のため、社会、企業、家庭が協力することが必要である。具体的には、食習慣の見直し、フードバンクの活用などがある。詳細は消費者庁のホームページにあるので参考にいただきたい。         </div>
調べる	②我が国の輸入の現状について調べる。 <生産者・消費者> ・ 輸入量の変化 ・ 関税 ・ TPP 輸入をすることで	【知・技①】 調べたことをまとめ、食料の輸入・輸出が重要な課題であることを理解している。 〈ワークシート・発言〉	・ 世界地図
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>生産者</b>            ・ 輸入が増え続けると農家がなくなる。            ・ TPPで、日本の食料品があまり売れなくなることもあるかもしれない。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>消費者</b>            ・ 輸入があることで多くの食料品を選べる。            ・ TPPで、今よりも安くよい食料品を買うことができるかもしれない。         </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           輸入は必要？ 輸入はかりになるの            はよくなけれと輸入をしない今            食生活がよくなるとはよいか輸入を続            けたいとわが国で思う大切なのは輸入の            方法と量を考えることだと考える。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           輸入は「生産者」「消費者」それぞれにとってどのような意味があるのかまとめた。輸入に否定的な考えをもっていた児童も、我が国の食料生産の現状について学習し、輸入も必要であるというように考えが変容した。         </div>		

調べる

③我が国の食料生産の強みについて調べる。  
 <生産者>  
 ・海外への日本産品の輸出  
 ・六次産業化 ←自分たちが住む町の取組

**3時間目** 日本の食料生産に未来はあるか? ないか  
 ある。日本の食料は、海外からも良い評判になっていくし、これからは日本食の広がりを見込んでいると思う。

【知・技①】  
 調べたことをまとめ、国産品の海外進出や六次産業化が重要な課題であることを理解している。〈ワークシート・発言〉

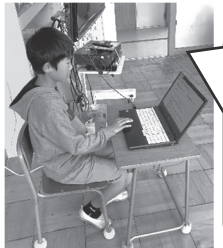
生産者の立場についての学習で、「おおむね満足できる」状況と評価した児童の記述である。授業では、我が国の食料自給率を上げる取組、さらに、未来志向型の取組として「高品質・無形文化遺産となった和食を生かした食料品の輸出」と「町の六次産業化」を扱った。

P38 指導計画作成の留意事項(7)

- ・実物資料
- ・写真
- ・動画

まとめる

④食の安全・安心に対する取組について調べる。  
 <生産者・消費者>  
 ・トレーサビリティシステム ・検疫



牛肉のラベルをよく見たことがなかったけど、多くの情報が含まれていた。個体識別番号を調べると、自分が食べる牛肉がどのように届けられるのかよく分かった。

【知・技①】  
 調べたことをまとめ、食料生産の安全・安心な確保が重要な課題であることを理解している。〈ワークシート・発言〉

児童が実際にICTを活用し、トレーサビリティシステムを体験した。生産者が安全・安心に取り組むだけでなく、自分たち消費者も何ができるかについて考えた。食料を安定的に安心して確保するためにはという視点で、世界規模の異常気象と世界の穀物の価格変動について調べた。世界で何が起ころてもいいように日本の食料自給率を上げる必要があることに気付いた。

P38 指導計画作成の留意事項(4)

- ・実物
- ・タブレット
- ・写真

⑤ これからの食料生産について調べたことをもとに、学習問題に対する考えをまとめる。

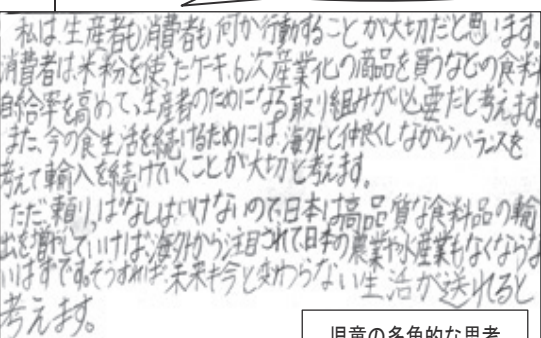
学習問題の結論  
 食料自給率を上げることで、農業や水産業が活発になる。食の安全、安心には多くの課題があり、私たち消費者もよく考えて食料を手に入れる必要がある。

【思・判・表②】  
 食料自給率や輸出入といった問題を関連付けたり、食料生産について学習してきたことを総合したりして学習問題の結論を考えている。〈ワークシート〉

- ・前時までの資料

⑥ 既習事項を生かし、食料生産の現状について多角的に考え、これからの食料生産について考える。

P38 指導計画作成の留意事項(9)



児童の多角的な思考

【思・判・表②】  
 学習したことを基に、消費者や生産者の立場から多角的に考えて、これからの食料生産について考え表現している。

【態②】  
 学習したことを基に、これからの我が国の食料生産の在り方について考えようとしている。〈発言・ワークシート〉

我が国の食料生産の未来について多角的に思考した児童の記述である。生産者の立場、消費者の立場の双方から考えることができています。また、学習してきたことを踏まえた記述ができていたことから「おおむね満足できる」と判断した。ただ、内容面で、事象と意味の関連についての表記が乏しいと感じる箇所があるので、その点について指導・助言していくようにした。

- ・ワークシート
- ・振り返りシート



P38 指導計画作成上の留意事項(2)資料を基に、様々な解決策を考える様子。

5 指導・評価に当たって  
 食料生産に関する我が国の現状と問題を理解し、これからの食料生産はどうしていったらよいのだろうかという解決策を多角的に考える活動を行った。児童の問題意識を解決に向け、思考の様子や理解度を細かに把握するため、右の「学習問題・計画・まとめ・振り返り・学習問題の結論」を一枚にまとめたワークシートを用意した。一枚にまとめることで、児童にとっては常に学びを振り返ることができ、教師にとっても、助言など指導に生かす評価を行い児童の変容を見取ることができると考えた。また、児童が自己評価(メタ認知)を行うことにもつながった。

**1時間目** 日本の現状を知っていますか?  
 ①日本は、まだ輸入が多いです。食料は、ロスの多いのに、輸入をたくさんして、いってかきついで、のまていって、教わって!

**2時間目** 日本は輸入が得意? 必要?  
 日本は輸入を得意にしたい。食べない食品も増えるから輸入は必要です。

**学習問題** 日本の食料生産には、どのような課題があり、日本の食料生産の未来は、どうなるか? 3つ。

**計画**  
 ・日本ががんばっていること。  
 ・輸入(海外)のこと。  
 ・輸出は?  
 ・このまま続いている? 変えていい?

**3時間目** 日本の食料生産に未来はあるか? ないか?  
 未来はあると思う。日本の食料は海外にも売れている。芽生えかけて、おいしい。高品質な食料を作って、海外からの評判をよくしよう。日本の強み!

**4時間目** 安全、安心をどうやるの? 安全? 安心?  
 安全、安心をどうやるの? 農業をこれくらいに伸ばせばいいかな。消費者(農家の人も)もできることを仕事も考えてみる。どうすれば、何が日本や世界でもっとも売れたらいいかな。もっと売れたら、日本の食料を食べたいと思う。もし売れたら、世界を救えるかもしれない。

**学習問題の結論**  
 日本は食品ロスが多いのに、たくさん食料を海外から輸入している。このまま輸入が続き、増えたら、日本の農業や生産者がこぼれ、食料自給率が下がってしまう。だから海外で物産や異常気象があること食料が手に入らない。どうにかいよう。日本でもっとも売れたらいいかな。もっと売れたら、日本の食料を食べたいと思う。もし売れたら、世界を救えるかもしれない。

<事例4> 「思考を可視化することで、深い学びを促す学習」の事例

※本事例は、学びを深めるために、思考の可視化を学習活動に組み入れた実践である。  
 思考の可視化を促すために作成する関係図の活用や見方について、具体的に示している。

第6学年 「国の政治のしくみと選挙」 指導要領との関わり：内容(1) ア、イ

- 1 小単元名 国の政治のしくみと選挙
- 2 小単元について (略)
- 3 小単元の目標と評価規準 (略)
- 4 小単元の指導計画 (4時間扱い) ( )の数字は時数  
 国会の働き(1) 選挙のしくみと税金の働き(1) 内閣の働き(1) 裁判所の働き(1)
- 5 本時の学習指導 (2/4時)

(1) 目標

選挙のしくみや税金の働きについて調べたことを関係図にまとめ、選挙や税金とわたしたちの生活との関係について理解することができる。 〈知識及び技能〉

(2) 展開

- 税金とは何か、知っていることや考えを出し合い、本時の課題を立てる。

課題

わたしたち国民が納めた税金は、どのように使われ、だれが使い方を決めているのだろう。

- 税金の集め方や使われ方について調べる。

<調べる際の留意点>

- ・「わたしたちの暮らしと税\*埼玉県版」を調べる活動の中で活用する。
- ・タブレットなど ICT の活用を図りながら調べ学習を展開する。

- 選挙のしくみと役割について調べる。

- ・選挙権 (18歳以上) ・政党 ・投票率

- 税金と選挙について関係図にまとめる。

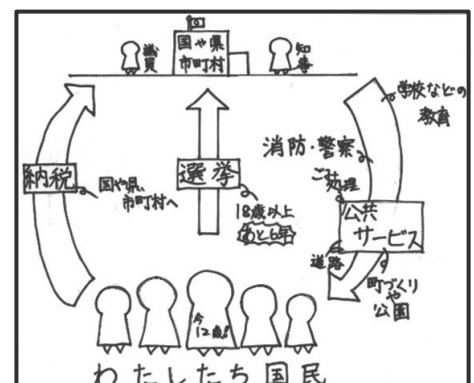
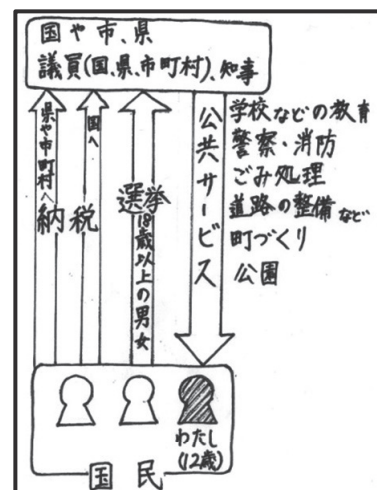
<関係図の作成の手順>

- ①これまで学習したことで関係のあると思うことを書き入れる。
- ②関係図の中に、私たち(自分、国民等)の存在を位置付ける。社会との関わりを考える上で重要となる。
- ③関係を示す場合、線や矢印で結ぶ。矢印は、一方向(→、←)、双方向(⇔)、太さ(→、➡)などに意味をもたせることも重要である。
- ④結び付けた理由などを文字で記述させる。2つの事象の関係性と根拠がより明確になる。
- ⑤作成した関係図を基に国民生活に果たす選挙と税金の役割について話し合い、本時のまとめや学習問題の結論を導いていく。

<関係図の作成の際の留意点>

- ・税金の集め方・使われ方、選挙のしくみと役割について調べる活動の際、調べた社会的事象、キーワードなどを短冊用紙にまとめることで、効率的に関係図を作成できるようにする。
- ・支援が必要な児童には、キーワードやイラスト、写真等を提示し視覚的に訴えることで、具体的にイメージをもたせ、関係図を描きやすくさせる。

児童の作成した関係図



○作成した関係図をもとに話し合い、本時のまとめをする。

【評】 選挙のしくみや税金の働きについて調べたことを関係図にまとめ、選挙や税金とわたしたちの生活との関係について理解している。 【知・技②】 <ワークシート>

⇒選挙と税金との関連がしっかり結び付いていない児童には、児童が作成した代表的な関係図を提示しながら考えさせていくようにする。

⇒私たちの生活との関連について意識させるために、関係図の中に私たち（自分・国民等）を位置付けるようにするとともに、話し合いの中でも必ず触れるようにする。

⇒選挙で代表者を選ぶ際の大切な視点の一つが税金の集め方や使われ方であるという考え方をしている児童の意見を、意図的に取り上げて広めていくようにする。

まとめ

わたしたち国民が納めた税金は、様々な公共サービスに使われ、使い方は、選挙で選ばれた人（議員）たちが話し合いをして決めている。

○投票率の低下という今日的な問題について話し合う。

・政治への関心、将来の社会のあり方、自分が選挙権をもつようになって気を付けたいことなど、学習した内容を関連させながら考えさせていくようにする。

○本時の学習の振り返りをする。

・本時の学習を通して、「選挙」について考えたことなどをノートに記述させるようにする。

<本小単元を展開するに当たって>

・本小単元「国の政治のしくみと選挙」を展開するに当たっては、「わたしたちのくらしと日本国憲法」の学習と結び付けて学習を進めていくようにする。特に、参政権、納税の義務など国民としての権利、義務との関連を図っていく。児童の思考を深めるため、思考の可視化の方策として効果的な関係図は、国会・内閣・裁判所の三権分立の関係をまとめる際にも有効である。

第4 社会科における学習評価の評定への総括例 ※ 詳細はP7参照

1 観点ごとの総括の方法例

知識・技能と思考・判断・表現については、学習過程の「まとめ」や「生かす」において行った評価結果を重視することが考えられる。最後の学習場面における評価結果は、継続的に指導を積み重ねた結果の学習状況であると捉えられるからである。ただし、「主体的に学習に取り組む態度」については、主体的に問題解決しようとする態度【態①】と、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている【態②】の二つの態度について評価する。

2 単元における観点ごとの評価の総括例

単元や題材等の内容、時間のまとまりなど、評価場面を精選する。また、教師同士で評価規準や評価方法を検討する等、計画的に評価することが必要である。

3 学期末及び学年末における観点ごとの評価の総括例

児童自身に学習の見通しをもたせるため、学習評価の方針を事前に児童と共有する場面を必要に応じて設ける。また、校内組織（学年会や教科等部会等）を活用し、組織的・計画的な評価を行うことが重要である。

※ 評定については、あらかじめ各学校で定めておいた基準に基づいて決定する。

総括例

	1学期		2学期			3学期			学年末			
	1 学校 のま わり	2 市 のよ うす	1 学 期 末 の 評 価	1 工 場 の し ご と	2 商 店 の し ご と	3 火 事 か ら く ら し を 守 る	2 学 期 末 の 評 価	1 を 守 る 事 故 や 事 件 か ら く ら し	2 市 の う つ り か わ り	3 学 期 末 の 評 価	観 点 別 学 習 状 況 の 評 価	評 定
X児	知識・技能	A B	A	A B A	A	A B B	A	B B B	B	B	A	2
	思考・判断・表現	B B	B	A B B	B	B A B	B	B A B	B	B	B	
	主体的に学習に取り組む態度	B B	B	B B B	B	B B B	B	B B B	B	B	B	

各学校で事前に基準を決めておく必要がある例

	評価規準 [ ]内数字は時数	Y児
知識・技能	【知-①】【③④】	
	【知-①】【⑤】	B
	【知-②】【⑥】	B
	単元の総括的な評価	B
思考・判断・表現	【思-①】【①】	
	【思-①】【②】	A
	【思-②】【③】	B
	【思-②】【④】	A
	【思-②】【⑤】	A
	単元の総括的な評価	A
主体的に学習に取り組む態度	【態-①】【②】	
	【態-①】【③】	B
	【態-②】【④】	A
	単元の総括的な評価	B

表の空欄の部分は、児童の学習状況を見取り、指導に生かし、学習改善や指導改善につなぐことを重視する時間を意味している。評価が記入されている部分は、評価したことを指導に生かしつつ、評価したことを記録に残す時間を意味している。